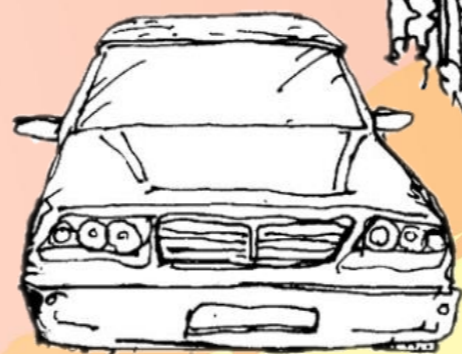


トルコの観光地



ブルーモスク *Sultanahmet Camii*

ブルーモスクは、1609年から1616年にかけて建てられた、イスタンブールにあるトルコを代表する巨大モスクです。正式名称は、「スルタンアフメト・モスク」と「スルタンアフメット・ジャーミイ」。モスクの内側の壁には、イズニックで作られた青をベースとしたタイルが2万枚以上敷き詰められています。世界で唯一、ミナレット（尖塔）が6本あり、美しいシルエットが特徴です。夜はモスクがライトアップされ、昼間とは違う雰囲気を楽しむことができます。

また、ブルーモスクは複合施設となっていて、敷地内には商店街・医療施設・初等教育機関などもあります。



カッパドキア *Cappadocia*

カッパドキアは中央アナトリア高原に位置するネヴシェヒル、カイセリ、アクサライ、ニジエデなどのトルコの都市を含む歴史的な観光エリアです。カッパドキアの南北約 50km に広がるカッパドキアのエリア内には、多くの村や観光スポットが点在し、1985 年にはユネスコの世界文化遺産に登録されました。カッパドキアの最も重要な町と観光地は、ユルギユップ、ギョレメ、ラブ バレー、ウフララ溪谷、セリメ、ギュゼルユルト、ウチヒサル、アバノス、ゼルヴェです。カッパドキアの三大城は、ウチヒサル城、オルタヒサル城、ウルギユップ カドゥカレシです。

カッパドキアでは、火山活動によってできた地層が浸食されて、さまざまな形の岩石が形成されています。特徴的な岩には、「三姉妹の岩」・「妖精の煙突」・「らくだ岩」があります。

洞窟内の住居は、ビザンティン時代にアラビア軍やペルシア軍の侵攻から身を守るために建てられたもので、現在でもその洞窟住居で生活している人がいます。洞窟住居を利用したホテルやレストランもあり、観光客に人気です。

カッパドキアは熱気球ツアーでも有名で、このツアーはギョレメで催行されています。



トロイ遺跡 *Troia Archaeological Site*

トロイは世界で最も有名な古代都市のひとつです。トロイで確認された 10 の異なる都市層は、3,000 年以上続いてきたことを示しており、アナトリア、エーゲ海、バルカン半島が交わるこの独特の地形に築かれた文明をたどることができます。トロイにおける最古の文明層は、紀元前 3000~2500 年の青銅器時代前期まで遡ります。その後もトロイには紀元前 85 年と紀元前 500 年と、継続して人が定住したとされていて、第 4 ローマ時代に人々がトロイ定住後、12 世紀から 13 世紀にかけてビザンチンがトロイ第 5 の定住地として居住が進みました。この時代以降、大きな政治的変化の結果、トロイのかつての重要性は失われました。さらに、トロイはホメーロスがイリアス叙事詩で語ったトロイア戦争の舞台です。

トロイ遺跡は、チャナッカレ県テフフィキエ村の境界内に位置し、市の中心部から 30km 離れています。この遺跡は 1871 年にハインリヒ・シュリーマンによって初めて発掘され、続いて W. デルプフェルトと C.W ブレゲンによって再び発掘されました。その後、マンフレッド・O・コーフマン率いる国際チームが 1988 年に 50 年ぶりにトロイで発掘活動を再開し、2005 年までマンフレッド・O・コーフマンによって発掘が続けられました。現在、文化観光省の支援を受けて、チャナッカレ・オンセキス・マート大学のリュステム・アスラン博士による発掘作業が行われています。

トロイ遺跡は、その神話的、歴史的、考古学的な重要性から、1996 年にその周辺地域とともに歴史国立公園に指定され、1998 年にはユネスコの世界文化遺産に登録されました。



ゴルディオンの遺跡 *Gordion*

ゴルディオンの遺跡はトルコのアンカラにあります。この古代都市は、紀元前 12 世紀のヒッタイト帝国崩壊後に興った、鉄器時代の独立王国であるフリギアの政治的、文化的首都でした。

ゴルディオンの遺跡の歴史的価値は、4,500 年近くにわたり様々な民族や国による長く複雑な占領の繰り返しに基づいています。フリギア王国は、「ゴールデンタッチ」という物語でその富が広く知られるミダス王によって統治されました。その後、王国が滅亡してしばらく経った紀元前 4 世紀後半には、フリギアの城塞はアレキサンダー大王を勝利に導きました。

この遺跡はごく最近、当初の予定から延期され、2023 年 9 月 10 日から 25 日まで開催された第 45 回世界遺産委員会の会期中に、ユネスコの世界遺産に登録されました。ゴルディオンの登録により、トルコの世界遺産の遺跡の数は 20 になりました。



グランドバザール *Kapalı Çarşı / Grand Bazaar*

グランドバザールは、歴史的なイスタンブールの半島にある世界最大級かつ最古のバザールで、1461年に設立されました。1985年にはユネスコの世界文化遺産に指定されています。グランドバザールは、トルコ語では「カパルチャルシュ」といい、「屋内市場」という意味があります。

ショッピングの迷路として知られており、64の通路と22の出入口があり、約4,000の店舗が集まっています。総面積30,700平方メートルのグランドバザールは、商品やサービスの種類に応じて編成されており、金製品、ジュエリー、絨毯、織物など様々な商品が売られています。また、レストランやモスク、銀行もあります。

観光客がイスタンブールでお土産を買いに行く人気のスポットです。グランドバザールのほとんどの商品には値札がついていないため、客は値段を交渉する必要があります。

